

答えて市長！

一般質問

教員の負担軽減における取り組みについて

戸田 馨

〔問〕 吉川市教育大綱が策定され、様々な授業や新しい取組が展開される中、特色ある教育の推進には教員の働き方を精査する必要がある。負担軽減の為の情報ネットワーク化・教務支援員導入等、どのように考えるか。

〔答〕 教育部長 市内小中学ネットワーク化により情報の共有化が図られ、教員の負担が軽減されると共に、児童と向き合う時間が増えると考え。教務支援員の導入については、野田市が文部科学省事業の重点モデル地区となっており、一定の成果を上げていると聞いている。吉川市においても専門スタッフの配置について今後検討してゆく。

◆現庁舎さよならイベントを

〔問〕 現庁舎に最後のお別れを告げる「さよならイベント」を開催し、新庁舎で新たな歴史を刻む節目としてはどうか。

〔答〕 総務部長 現庁舎閉庁という歴史を刻むことは市政への関心を持って頂く機会のひとつであり、簡素な式典を検討していた

が、市民の参加を呼びかける方向で検討する。

自治会運営の課題に対し、行政の関わり方について

林 美希

〔問〕 行政情報の伝達、公共的活動の実施、地域のとりまとめと行政運営にとって非常に大きな役割を担う自治会。住民の自主性の上で運営されることが自治会の前提だが、地域の特性により散見される各課題に対し、積極的な介入が必要ではないか。自治会運営における課題の洗い出しと、それらに対する解決手法の提案を求めるが、見解は。

〔答〕 民生生活部長 これまで個別に相談に応じていたが、さらに一歩進め、自治会へのアンケート調査及び窓口ヒアリングを実施し、そこで得た結果を自治連合会にフィードバックし、情報提供を行うとともに、市全体の自治会活動の振興につながるよう検討していく。

〔問〕 市内自治会の先進的な取り組みは、自治会の了承の上で情報提供してはいかがか。

〔答〕 市民生活部長 他の自治会においても水平展開が見込めそう

今定例会では、18名の議員が市政全般にわたり、市の見解をいただきました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は3月上旬となる予定です。

な自治会の先進的な事例の紹介もしていきたいと考えている。

インターネットを活用した情報発信の更なる充実を

稲葉 剛治

〔問〕 アプリ、動画を活用した広報活動、吉川市防災ツイッターの本運用や、大手情報検索サイトとの防災協定による、吉川市防災情報プログラムの運用などが開始されている。子育て分野においては、子育て応援ウェブサイ「ママフレ」が開発されており、インターネットを活用した取り組みを積極的に進めて頂いていると認識していますが、更に有意義な活用が出来ないかと考える。今後インターネットを使った情報提供手段を用いる事についてどのように考えているか伺う。

〔答〕 政策室長 インターネットの特性である情報伝達の早さと拡散力を活用し、様々な情報を市民の方へ届けることは、市民サービスの向上につながるものであることから、引き続きインターネットを活用した情報発信に努めて行く。

〔問〕 各担当課による情報提供についての考え方は。

〔答〕 政策室長 市民の知りたい情報の効果的な情報発信に努める。

〔問〕 地域SNSとの連携について。

〔答〕 政策室長 有効性を検討する。

高齢者等の見守り活動必要な方には柔軟に対応

降旗 聡

〔問〕 市では、一人暮らしの高齢者などに対して、緊急時通報システム貸与事業や、安心リユック等配布事業を行っています。また、昨年から、「あんしん救急キット」配付事業を実施しています。地域の方から「あんしん救急キット」について、隠れ独居の方々（日中は独居の方など）が対象とならず実態に合っていないのではとの声が聞かれます。そこで、「あんしん救急キット」の対象者拡充について、市の考えを伺います。

〔答〕 ことも福祉部長 市では、平成28年度から「一人暮らし高齢者等見守り事業」の内容を拡充し「あんしん救急キット」の配付に取り組み累計で1291人に活用いただいています。「あんしん救急キット」は、70歳以上の一人暮らしの方や、障がいをお持ちの方などを対象

としていますが、家族が仕事で留守のため日中のほとんどを一人で過ごしている方については準じる方として、希望があれば対応しています。対象年齢の引き下げは考えていませんが、必要な方には柔軟に対応します。

ひら・まち・ごと創生総合戦略の目標達成に向けて

五十嵐 恵千子

〔問〕 国が進める創生総合戦略が当市においても目標を掲げ推進されています。進捗状況・課題・更なる推進への決意は。

〔答〕 市長 当市の同戦略を着実に推進するための第57号議案が否決となり新聞へも掲載され、多くのお問合せが来ています。また、創生総合戦略を見定めながら人材要請を進めてきたので、今後、三輪野江の開発に大きな影響を落とす事なども心配していません。是非、議員の皆様にも先見性を持ったご理解をいただき、吉川らしい政策を進めて行きたい。

〔答〕 政策室長 各分野の指標は概ね順調に推移。引き続き待機児童解消の取り組みや産業振興条例の策定に取り組む。

〔答〕 健康長寿部長 健康と運動の一体的な取り組みで生涯を通じて健康づくりを推進。子育て包括支援センターは平成30年開設に向け準備中です。

◆公園などの枯れ葉対策を

〔問〕 きよみ野第2・3・4公園の

対策と再利用のお考えは。

〔答〕 都市整備部長 生垣・フェンス設置や業務委託を検討。再利用は関係課と連携し研究。

今後の障がい者政策について

小野 潔

〔問〕 平成30年から6年間の第4次障がい者計画の策定にあたり

①市ホームページのバリアフリー化として視覚障がい者のため活字の音声読み上げシステム、最大600%までの画面拡大機能、色弱者への表示画面の色の反転機能を備えた支援ソフトの導入を。②新庁舎移転に伴い現第二庁舎を暫定的に残し社会福祉協議会を移す際に点字用プリンター、音声読み上げパソコン設置室やプライバシー保護に配慮した相談室拡充③障がい者が参加しやすくするため自治会の集会所玄関等のバリアフリー化を。④発達障害児支援センターについて⑤障がい者就労支援の農業・福祉連携政策の推進を。

⑥「はーとふる・ぽっと」の今後について関係者への丁寧な説明を。

〔答〕 ことも福祉部長 ①来年度ホームページリニューアル時に対応する。②有効な対策を考えたい。③4次計画に考え方を位置付ける、また連合自治会会議等にて周知する。④設置・充実に努めて行く。⑤4次計画へ考え方を取り入れて行く。

⑥丁寧な説明・協議をしていく。

